

# 平成 29 年度 吹奏楽部 活動の記録

- 4/28・29 名取高校定演賛助出演合同練習会(名取高校)
- 5/2~5 春期強化合宿(自啓寮) 仙台フィル三上先生・山田先生合奏講習会(宮農音楽室・会議室)
- 5/13 名取高校定期演奏会合同練習会(名取高校)
- 5/16 見砂和照と東京キューバンボーイズ 復興記念コンサート合同演奏(BluesOnParade, SingSingSing)(東京エレクトーンホール宮城)
- 5/20 名取高校定演合同練習会(岩沼市民会館)
- 5/21 名取高校定期演奏会賛助出演(岩沼市民会館)
- 5/28 名取地区吹奏楽連盟楽器講習会(名取市立第一中学校)
- 6/30~7/1 ホール練習(名取市文化会館)・強化合宿(自啓寮)
- 7/1 細倉先生合奏講習会(Scootin' OnHardrock)(宮農音楽室)
- 7/9 全日本吹奏楽コンクール予選宮城県大会銀賞(イスマイ21)(Scootin' OnHardrock)
- 7/15 バイタルケア感謝祭招待演奏(名取市文化会館小ホール)(Let'sSwing, BluesOnParade, SingSingSing 上を向いて歩こう)
- 8/10 バイタルケア夏祭り準備(名取市バイタル)
- 8/11 バイタルケア夏祭り演奏+ポランティア(名取市バイタル)
- 8/19 愛の郷夏祭り演奏+ポランティア(名取市愛島)
- 9/9 広瀬病院お祭り演奏(Let'sSwing, BluesOnParade, A 列車で行こう, Moonlight Serenade,)
- 10/8 みやぎ高校吹奏楽祭(BluesOnParade, Moonlight Serenade)単独出演(岩沼市民会館)  
/名取 JAZZ&BEER フェスティバル(サッポロビール園)(Let'sSwing, BluesOnParade, A 列車で行こう, Moonlight Serenade,)
- 10/14 宮城県高等学校音楽祭合同練習会(名取高校)
- 10/17 第 40 回宮城県高等学校音楽祭(ビッグバンド・名取高校合同)(SingSangSung)(日立システムホール)
- 10/19 仙南地区高等学校音楽発表会(SingSangSung)(大河原町えずこホール)
- 10/22 名取うまいもん市 JAZZStage (Let'sSwing, BluesOnParade, A 列車で行こう, Moonlight Serenade,)(仙台空港)
- 10/29 高校生のための吹奏楽部運営講座(宮城野高校)
- 11/12 アサヒサンクリンポランティア演奏(愛子アサヒサンクリン)(Moonlight Serenade, 上を向いて歩こう, MyWay, 今日の日はさようなら)
- 11/12 無限コンサート鑑賞会 2 名参加(ジャズミノーラ)
- 11/23 仙台フィルハーモニー鑑賞 5 名参加(名取市文化会館)
- 12/16 東北吹奏楽の日演奏会練習会 2 名(東北学院榴ヶ岡・将監中/寺岡中/中山中/五橋中)(東北学院榴ヶ岡高校)
- 12/17 東北吹奏楽の日演奏会練習会 1 名(イスマイ 21)
- 12/24 アンサンブルコンテスト銀賞(管打 5 重奏)(第 2 組曲よりマーチ) 東北吹奏楽の日演奏会 2 名(リトルメイド・ストレーパ・ラ・イハス・ノーボーダー)
- 12/26 第 26 回全日本中学生・高校生ソロコンテスト南東北大会銀賞クラリネット最上あゆみ
- 12/27 第 26 回全日本中学生・高校生ソロコンテスト南東北大会銅賞トロンボーン白井唯賀
- 3/1 卒業式演奏(名取市文化会館)
- 3/25 名取地区吹奏楽祭(岩沼市民会館)
- 3/29 離任式演奏(宮農体育館)

平成 29 年度吹奏楽部活動報告

2年5組 島貫萌

現在吹奏楽部は、1.2 年生合わせて 9 人という少人数で活動しています。

夏には3年生の最後のステージである吹奏楽コンクール県大会に出場しました。惜しくも金賞には一歩及ばず銀賞という結果でしたが、1年間の練習の成果を十分に発揮することができました。

また、今年からは新たな試みとしてジャズにも本格的に取り組んできました。

空港、サッポロビール園、福祉施設、など様々な会場で発表の機会を頂きました。幼い子供からお年寄りまでたくさんの人たちに私たちの音楽を届けることができ、文字通り『音を楽しむ』という音楽の本質を再確認できました。

また、演奏を終える度の盛大な拍手やアンコールといった嬉しい反応がかえってきたことで、技術向上の手応えや練習への活力を得ることもできました。この少人数でも充分戦っていけると確信した瞬間でした。

さらには、日本のラテンバンドの代名詞と言っても過言ではないキューバンボーイズさんと共演の機会も頂きました。ビッグネームの技術に肌で触れ、大編成の演奏の迫力を改めて感じると共に、小編成の演奏ならではの魅力をいかにして引き出していくかについても考えさせられました。

ジャズは『聴かせる』という音楽としての側面の他に『魅せる』というエンターテインメント的特性を持っているものだと思います。私たちにとって、本格的にジャズに取り込むことは半ば大きな冒険のようなものでした。新しいことを取り上げる上での葛藤もありましたが、未知の世界へ飛び込んだからこそ、得るものの大きかった一年だったように思っています。時には衝突し、もがきながら駆け抜けてきた一年でした。来年は今年以上に密な一年になるよう、部員一同精進していきます。コンクールで満足のいく結果を出すのは勿論のこと、様々な層に向けて音楽の持つパワーを発信していきたいと思っていますので、これまで以上のご声援をよろしくお願いいたします。